



7回の政経セミナー特別講座
(超党派有志議員と市民による運営委員会によって政治、経済、社会の課題について市民セミナーを開催し、市議選の市民統一マニフェストを策定)

10回の桜井地区市政報告会
(桜井地区に居住する超党派6人の議員が主催する市政報告会を議会毎に開催。3月議会の予算案の概要説明や要望を受ける事前の報告会も開催)



2期目の活動



(試行)事業仕分け作業を実施(新政クラブ主催で越谷市で初めての公開事業仕分けを平成22年11月に開催。仕分け人や市民判定人など市民参加の中で4つの事業を対象とした)

チーム白川結成(旧来の後援会の枠から自立した市民と議員の新たな関係づくりのためチーム白川が結成され、市民主体の活動が開始された)
※写真はH21.12月の結成総会



21回のグランウンド・ゴルフ大会(がんばろう越谷主催による参加選手約200人規模で3カ月に1回の大会を各チームリーダーによる自主運営で続けている)

<http://shirakawa.mie1.net/>

白川秀嗣(しらかわ ひでつぐ)

昭和28年 佐賀県に生まれる。
昭和50年 福岡大学経済学部卒業。福岡県議会議員事務所勤務。
昭和58年 福岡市議会議員選挙に29歳で立候補したが惜敗。
昭和62年 福岡市議会議員(最年少当選)を一期勤めた。
平成5年 衆議院議員秘書として、日本新党細川政権を支え国会事務所で活動。
平成7年 埼玉県に転居。保険代理店勤務。
平成11年 越谷市議会議員選挙に立候補、2,060票の支持を得たものの、5票差で次点となり 惜敗。
平成13年 岩槻タクシー乗務員。変則的勤務時間を活用しながら、「がんばろう、日本! 国民協議会」の一員として、主権者運動を始める。
日本再生のエネルギーは、バッチをつけない主権者一人一人の「小さき無償」の戦いから生まれることを確信。
平成15年 2,709票の支持を得て越谷市議員当選。
平成19年 3,253票の支持を得て2期目当選
総務常任委員会・環境経済教育常任委員会 委員
副議長 新政クラブ(無所属会派)

がんばろう、日本! 国民協議会 同人
ローカルマニフェスト推進地方議員連盟 委員
政経セミナー運営委員会 事務局長
桜井地区市議団 会員
越谷総合技術高校PTAOB樟の木会 会員
中小企業家同友会 会員

家族/妻と2男1女

白川ひでつぐ議員と共に
住民自治をすすめましょう

チーム白川 チームリーダー **伊藤 幹夫**
(桜井地区連合自治会副会長)

白川ひでつぐ

〒343-0045 埼玉県越谷市下間久里477-12
TEL/FAX: 048-979-3027 携帯: 090-1121-9324
ホームページ: <http://shirakawa.mie1.net/>
ツイッター: hishirakawa
メールアドレス: shirakawa110@gmail.com



討議資料

市民が参加し、責任をもつ地域への挑戦
すべての資源を次世代への投資に転換する



越谷市議会議員

白川ひでつぐ



「がんばろう、日本!」



1488回の毎朝の駅立ち
の実行(毎日東武鉄道せんげん台、大袋、北越谷、越谷、新越谷、蒲生の各駅東西口で**8年間**続行している。)※写真は本年元旦の駅立ち

90回の毎月の市政報告会(タウンミーティング)の開催(当選以来毎月テーマを設定し議会の議案や予算案を説明報告し、参加者の質問等にも応える。)



白川ひでつぐ

※活動は全てH23.3.1現在



7回の14時間マラソン演説会の開催(毎年5月せんげん台駅前朝6時から夜8時までマイクを握り連続演説会の実行)



2011年統一ローカルマニフェスト

この政策は超党派議員有志と市民で構成する「政経セミナー」の討議をへて策定しました。

新しいしくみ

改革のカギ—しくみと意識を変える—

市政への参加のしくみを作ります

1. 徹底した情報公開と市民参加による議会改革を進めます。

- ① 賛否が分かれる議案、意見書への討論と各党派・各議員の議案への賛否の公開をすすめます。
- ② 本会議と同様に予算委員会等ライブ中継を実現します。
- ③ 議長選挙の更なる公開に取り組みます。
- ④ 市議会主催の市政報告会の開催を目指します。
- ⑤ 常任委員会や特別委員会における議員同士の自由討議の実施に取り組みます。
- ⑥ 議会へ市民参加を促進し、議会として市民の意見を吸収します。

2. 市民が発議すれば必ず住民投票を実施する常設型住民投票制度条例を提案します。

新しい公共

税金は市民のお金、市民が決める、市民が使う—

行政依存の体質から市民が決める、責任をもつ地域共同体を作ります

1. 議会、会派、行政による「事業仕分け」を実施し、何かをやるために何かを諦める選択肢を提案し、事業実施の優先順位を明確にします。

2. 地区住民が地区の予算の使い道を自ら決められる交付金制度を創設し、市民自身で事業を選択、実施するしくみを作ります。

新しい豊かさ

成長戦略から成熟戦略へ—

人口減少時代とグローバリズムに対応し、環境、健康、観光分野の統一的振興策を提案して行きます

1. 市立病院の財政健全化を図り、市民と共に救急医療体制の充実など地域医療の拡充に取り組みます。

2. 地域の人材発掘と連携による「稼げるプロジェクト」を立ち上げ、農産物のブランド化にむけ生産、加工、流通の一体的な市場戦略を提案します。

3. 人、物、通貨、ゴミ、エネルギー、交通などが一巡する循環型の地域を目指します。



2007年市議員選挙「私の通信簿」

統一ローカルマニフェスト (越谷市議会行財政改革調査議員連盟が策定) の達成状況と評価

私を含む超党派13名の議員 (行財政改革調査議連・保守系3党派) が約束した統一政策の4年間の実績と評価です。



H21.10月 市民まつりでの農産物ブランド化のアピール

1 事業仕分けを始めとする徹底した行財政改革を進めます。

実績

- ① 新政クラブ主催の(試行)事業仕分けを平成22年11月の開催。市民判定人や仕分け人の市民参加を実現
- ② 副市長を2人から1人に削減するため議員提案や請願運動を通して実現
- ③ 職員の地域手当を国に準じて議員提案で6%支給に前倒しで実現

自己評価

60点

市長主催での事業仕分けの開催を議会で再三再四提案してきたものの、実現せず議会全体としても開催出来なかったため新政クラブで取り組みました。しかし600もの事務事業をゼロベースから見直すことは不十分でした。

2 稼げるプロジェクトの結成による税収の確保を図る

実績

- ① 産業振興部会を立ち上げ、関係経済団体への現状調査を実施
- ② 鴨ねぎ鍋を始め越谷産農産物のブランド化促進のための調査活動の実施
- ③ 市民まつりでの地産地消、地元農産物を使用した素材で宣伝活動を実施

自己評価

30点

地域おこしは「ないものねだりからあるもの探し」を原則としましたが、人材の発掘やネットワーク化には至りませんでした。このため越谷市全体のブランド化や稼げるプロジェクトの立ち上げとなりませんでした。

3 議案への賛否を公開するなど始める議会改革の推進

実績

- ① 賛否が大きく分かれた議案や意見書には必ず討論(賛成反対)で主張を明確にして、議決結果は実名で新政クラブ会報などで公表
- ② 一般質問で一問一答方式の導入を促進し、市民に解りやすい質問、答弁となりました
- ③ 常任委員会の機能化にむけ請願者などの参考人招致や市内現地調査を実施
- ③ 桜井地区議員団主催の市政報告会を10回に渡り開催。

自己評価

50点

議会への市民参加を目指し「開かれた議会」へいくつかの成果を上げました。特に桜井地区市政報告会は超党派6人の議員が報告や説明を担当し、市民の意見に応じて来ました。議員が支援者との関係だけではない市民と議会との本来の関係づくりでは特質しています。しかし議長選挙の公開などまだ多くの課題を解決出来ませんでした。